

問 地域猫の取組を

答 責任ある飼養へ普及啓発を行う



小久保 照枝 議員 公明党

○地域猫活動について以下を問う。

問 本市に活動団体はあるか。

答 環境課長 把握していない。

問 具体的な取組は。

答 地域に住み着く所有者のいない猫に、去勢・避妊手術、適切な管理を行い、将来的に飼い主のいない猫をなくす。

問 本市においてボランティア登録が必要では。

答 登録は必要と考える。

問 活動団体に、去勢・避妊手術の助成が出来ないか。

答 「どうぶつ基金」の行政の活用につなげることを検討。

問 公益財団法人「どうぶつ基金」とは。

犬猫の不妊手術奨励事業や動物愛護思想の普及啓発事業を行っている。

問 動物愛護条例とは。

答 動物の愛護及び管理に関する事項を定める。

問 動物愛護の取組は。

答 学校教育課長 生活科の授業で動物病院の先生を講師に招き、小動物と触れ合うことを通して命の尊さと動物愛護を学んでいる。

問 市長の見解は。

答 (市長) 飼い主がルールを守り、責任をもって飼養することが重要で、引き続き普及啓発が必要。



問 障がい者移動支援・情報支援を

答 利便性の向上周知に努める

問 障がい者移動支援の利便性は。

答 (健康福祉部長) 令和3年度9人。令和4年度11人。

問 必要としている人数は。

答 手続きした人は、令和3年度末時点で50人、令和4年度末時点で43人。

問 「移動支援や」相談体制についての意見が多く寄せられているが、本市の対応は。

答 福祉タクシー料金助成利用券が利用可能な事業者を増やし、利便性向上に努めている。

問 相談体制の充実も図っている。

答 「障害者情報アクセスナビリティ・コミュニケーション」推進法への取組は。

問 今年度策定の弥富市障がい者計画等で、同法の趣旨を踏まえた施策を掲げ

答 今年度策定の弥富市障がい者計画等で、同法の趣旨を踏まえた施策を掲げ

問 デジタル障害者手帳ミ

答 手帳の新規交付時や更新時に、チラシの配布を行う。

問 手帳申請時に周知しては。

答 手帳の新規交付時や更新時に、チラシの配布を行う。



▲ミライロID

問 ミライロIDの周知と活用は。

答 周知に努める。

問 きんちゃんバスの運賃支払い時に適用。

答 手帳の新規交付時や更新時に、チラシの配布を行う。

問 手帳申請時に周知しては。

答 手帳の新規交付時や更新時に、チラシの配布を行う。

問 市長総括を。

答 (市長) あらゆる分野の活動に参加するため、必要不可欠なツールの一つと考える。誰もが暮らしやすく優しさを持って繋がるまちづくりを目指す。